

事業報告

令和7年度研究会報告

法学研究所

刑事法研究会

(第1回例会)

1、2025年3月27日(木)16時30分

1、10号館 1062講堂

1、テーマ及び報告者

自己殺傷行為の動機を表示した法益主体を利用した間接正犯について

日本大学法学部教授 野村 和彦

(第2回例会)

1、2025年6月21日(土)16時30分

1、本館 第二会議室

1、テーマ及び報告者

故意の構成要件関連性について

日本大学法学部教授 南 由介

(第3回例会)

1、2025年9月27日(土)16時30分

1、本館 第二会議室

1、テーマ及び報告者

少年法64条1項と特定少年の責任能力

日本大学法務研究科教授 河原 俊也

(第4回例会)

1、2025年11月8日(土)16時00分

1、2号館 252A 講堂

1、テーマ及び報告者

組織犯罪処罰法13条1項6号の合憲性について

(最判令和6年12月17日刑集78巻6号462頁)

日本大学法学部専任講師 三隅 諒

(第5回例会)

1、2025年12月20日(土)16時30分

1、本館 第二会議室

1、テーマ及び報告者

避難行為の補充性および衡量原則が「現在の危難」の認定に及ぼす影響について
—我が国の裁判例を手掛かりにして—

日本大学大学院法学研究科博士後期課程 小林 侑介

商事法研究会

(第1回例会)

1、2025年3月22日(土)14時00分

1、2号館 282A 講堂

1、テーマ及び報告者

交通事故により被害者に身体傷害及び車両損傷を理由とする各損害が生じた場合における、車両損害の消滅時効の起算点

(最判令和3年11月2日民集75巻9号3643頁)

杉並総合法律事務所弁護士 吉村 和貴

1、テーマ及び報告者

統合失調症に罹患していた成人男性が限定責任能力の状態で引き起こした殺傷事件につき、母親の他害行為防止義務違反と加害者の他害行為との間には相当因果関係があるとして、母親の不法行為責任を認めた事例

(大阪地判令和4年10月25日判時2592号87頁)

日本大学文理学部講師 松本 幸治

(第2回例会)

1、2025年4月26日(土)14時00分

1、2号館 282A 講堂

1、テーマ及び報告者

新株発行等が財務状況改善を目的としたものであり、経営支配権の維持を目的とした不公正な手段ではないとされた事例

(東京地決令和6年8月8日資料版商事488号69頁)

太陽誘電株式会社法務部係長 伊藤 哲弥

1、テーマ及び報告者

サイバーセキュリティインシデントに関する親会社取締役の内部統制構築義務

(広島高岡山支判令和元年10月18日2019WLJPCA10186012)

八戸学院大学地域経営学部助教 埴原 啓正

(第3回例会)

1、2025年5月17日(土)14時00分

1、2号館 282A 講堂

1、テーマ及び報告者

株主が会社法297条の規定によることなく訴訟手続によって会社に対し株主総会開催等を義務付けることの可否

(東京高判令和3年9月29日金判1695号38頁)

林康弘法律事務所弁護士 林 康弘

1、テーマ及び報告者

コインパーキングの免責規定の契約内容化が否定された事例

(神戸地判令和5年5月31日(令和3年(ワ)第1629号)交通民集56巻3号604頁)

関西学院大学法学部准教授 松田 真治

(第4回例会)

1、2025年6月21日(土)14時00分

1、2号館 282A 講堂

1、テーマ及び報告者

二段階取引における公正性担保措置と売買価格の決定

(東京地決令和5年5月12日金法2228号56頁)

横浜商科大学教授・公認会計士 原 郁代

1、テーマ及び報告者

スルガ銀行株主代表訴訟事件高裁判決

(東京高判令和7年3月27日判例集未登載)

日本大学法学部教授・弁護士 松嶋 隆弘

(第5回例会)

1、2025年7月19日(土)14時00分

1、2号館 282A 講堂

1、テーマ及び報告者

山口放送事件控訴審判決

(広島高判令和5年11月17日 LEX/DB25596746)

日本大学法学部准教授 金澤 大祐

1、テーマ及び報告者

借地権設定契約がされたが、土地所有者が現にその利用につき一定の制限を受けるほかには借地人に経済的利益が移転していない場合における、当該土地に係る相続税法22条所定の「価額」

(東京地判令和5年1月26日判タ1526号163頁)

税理士・日本大学法学部非常勤講師 松嶋 康尚

(第6回例会)

1、2025年9月3日(水)10時00分

1、2号館 282A 講堂

1、テーマ

「民法(遺言関係)等の改正に関する中間試案」の検討

(第7回例会)

1、2025年9月13日(土)14時00分

1、本館 145講堂

1、テーマ及び報告者

株主権確認請求訴訟において被告会社が控訴しない場合の相被告の控訴の利益

(東京高判令和6年9月11日金判1710号14頁)

LEC 会計大学院教授・弁護士 遠藤 啓之

1、テーマ及び報告者

議決権行使の代理人資格を株主に限る定款規定を持つ非公開会社における株主ではない弁護士による議決権代理行使の可否

(東京地判令和5年1月20日2023WLJPCA01206009)

近畿大学経営学部准教授 千手 崇史

(第8回例会)

1、2025年10月25日(土)14時00分

1、本館 145講堂

1、テーマ及び報告者

金融ADR制度における指定紛争解決機関の義務と不法行為責任—東京地判令和6年8月23日判決を素材として—

(東京地判令和6年8月23日金判1710号28頁)

日本大学法学部法学研究所研究員 崔 廷任

1、テーマ及び報告者

自己株式取得・処分信託の法的課題 政策保有株式の解消に向けて

名古屋学院大学法学部教授 坂東 洋行

(第9回例会)

1、2025年11月29日(土)14時00分

1、本館 145講堂

1、テーマ及び報告者

商法526条3項における法人売主の悪意の判断基準について

(東京高判令和4年12月8日判タ1521号131頁)

大東文化大学法学部准教授 王 学士

1、テーマ及び報告者

他人の生命の共済契約における共済契約者の告知義務違反

(東京地判令和4年10月25日2022WLJPCA10258004)

上智大学法学研究科法曹養成専攻教授 深澤 泰弘

(第10回例会)

1、2025年12月13日(土)14時00分

1、2号館 282A 講堂

1、テーマ及び報告者

宗教法人と信者間の不起訴合意が公序良俗に反し無効であるとされた事例および同宗教法人の信者らによる献金の勧誘が不法行為法上違法でないとした原審の判断に違法があるとされた事例(最判令和6年7月11日民集78卷3号921頁)

山形大学人文社会科学部講師 森 勇斗

1、テーマ及び報告者

IR情報(情報開示)と前科情報の公開(東京高判令和6年1月17日金判1694号8頁)

東京経済大学現代法学部教授 上机 美穂

税法研究会

(第1回例会)

1、2025年4月19日(土)15時00分

1、2号館 282A 講堂

1、テーマ及び報告者

トランプ2.0政権の自国第一課税政策を読む～「相互関税」の導入と国際デジタル課税枠組みからの離脱

現代税法研究会代表・白鷗大学名誉教授 石村 耕治

(第2回例会)

1、2025年6月21日(土)15時00分

1、2号館 284B 講堂

1、テーマ及び報告者

国税徴収法の目的と特色,そして納税者

税理士・白鷗大学教授 阿部 徳幸

1、テーマ及び報告者

公認会計士でもある税理士に対する税理士業務停止処分期間経過後に処分取消しを求める訴えの利益

税理士・日本大学法学部非常勤講師 松嶋 康尚

(第3回例会)

1、2025年9月20日(土)15時00分

1、2号館 282A 講堂

1、テーマ及び報告者

「韓国における納税者権利保護機構」—韓国国税庁『納税者権利保護 過去・現在・未来その一途な道に向かって行く記録』を読む—

税理士・白鷗大学教授 阿部 徳幸

1、テーマ及び報告者

グローバルな視角からの消費税減税をめぐる論点～基礎的飲食料品への最適消費税率選択

現代税法研究会代表・白鷗大学名誉教授 石村 耕治

(第4回例会)

1、2025年12月20日(土)15時00分

1、2号館 282A 講堂

1、テーマ及び報告者

適正手続と租税手続法～最高裁令和6年5月7日判決を契機に

日本大学法学部教授 鳥飼 貴司

1、テーマ及び報告者

車(自動車)にかかる税見直しをめぐる論点整理～車購入時税,暫定税率,走行距離課税(マイレージ税)を射程に

現代税法研究会代表・白鷗大学名誉教授 石村 耕治

民事法研究会

(第1回例会)

1、2025年3月17日(月)16時00分

1、法学部4号館 第四会議室 A

1、テーマ及び報告者

当事者適格の諸問題に関する研究

日本大学法学部助教 高橋 慶悟

(第2回例会)

1、2025年4月17日(木)18時00分

1、本館 第一会議室

1、テーマ及び報告者

売買目的物の瑕疵による追完請求権(ドイツ民法439条) Der kaufrechtliche Nacherfüllungsanspruch bei Mängeln (BGB§ 439 BGB)

フランクフルト大学・教授 Prof. Dr. Felix Maultzsch

政経研究所

政治研究会

(第1回例会)

1、2025年6月26日(木) 16時20分

1、2号館 273A 講堂

1、テーマ及び報告者

フェミニスト・アプローチとしてのケアの倫理：「倫理」と「政治」を架橋する

東京大学大学院人文社会系研究科特任研究員 富岡 薫

(第2回例会)

1、2025年6月27日(金) 16時00分

1、2号館 282B 講堂

1、テーマ及び報告者

自民党の派閥再考：政治改革は派閥を衰えさせたのか

國學院大學法学部教授 山本健太郎

経済研究会

(第1回例会)

1、2025年9月25日(木) 15時00分

1、Zoomによる開催

1、テーマ及び報告者

Countering Incumbency Advantage: Challenger Strategy and Political Rents

大阪大学大学院博士後期課程(日本学術振興会 DC2) 野津 成希

政経研究所共同研究研究会

(第1回例会)

1、2025年2月17日(月) 14時00分

1、2号館 292A 講堂

1、テーマ及び報告者

デジタル権威主義の時代？—米中対立と国際秩序

愛知学院大学文学部英語英米文化学科准教授 大澤 傑

(第2回例会)

1、2025年10月23日(木) 17時00分

1、2号館 283A 講堂

1、テーマ及び報告者

公共政策学をとりまく苦悶

青山学院大学法学部教授 松田 憲忠

(第3回例会)

1、2025年11月10日(月) 17時00分

1、2号館 292A 講堂

1、テーマ及び報告者

権威主義国が発するナラティブの日本での拡散と受容

早稲田大学政治経済学術院教授 小林 哲郎

令和6年度学内学会・研究所合同研究会

1、日時 令和7年3月6日(木) 9:30開場 9:50開会

2、場所 法学部10号館1011講堂

司会・進行 松山 博樹, 香川 七海, 福木 滋久, 三谷 文栄, 鏡 圭佑,
三隅 諒

3、自由論題

- | | |
|-----------------------|-------|
| ①メディア化の進展とネットミーム | 平井 智尚 |
| ②移動販売車を活用した公共空間デザイン | 佐藤 正弘 |
| ③事態把握の様式—言語, 思考そして文化— | 町田 章 |

4、日本大学法学部学術賞講演

- | | |
|-------------|---------------|
| ①営業秘密侵害の準拠法 | Serena Franco |
|-------------|---------------|

5、退任記念講演

- | | |
|--------------------------------|-------|
| ①我が国行政改革の歴史的展開—欧米主要国との比較検討を中心に | 上村 進 |
| ②自己と時間—心理学からのアプローチ— | 和田 万紀 |
| ③租税概念再考 | 黒川 功 |

令和6年度・令和7年度定期無料法律相談会

令和6年度・令和7年度定期無料法律相談会は、千代田区及び校友弁護士の協力を得て開催された。概要は、下記のとおりである。定期無料法律相談会の趣旨である地域社会との交流を図り、学生たちの法学実践教育を行うという目的を達成することができた。

1、日 時

【令和6年度】

(第6回) 令和7年2月8日(土)

※時間は、午後1時～午後3時

【令和7年度】

(第1回) 令和7年6月14日(土)

(第2回) 令和7年7月26日(土)

(第3回) 令和7年9月27日(土)

(第4回) 令和7年11月8日(土)

(第5回) 令和7年12月20日(土)

※時間は、午前11時～午後12時30分

2、場 所

法学部5号館

3、参加者(敬称略:50音順)

(専任教員)

佐々木良行, 清水 恵介, 林 誠吾, 宗像 玲樹, 横山 裕一

(校友弁護士)

池長 宏真, 神頭 正光, 佐藤 司郎, 角 学, 辰野 樹市, 町田 伸明

(補助学生)

司法科研究室生 各回2名

4、相談件数・内容

①件数 26件

②内容

借地借家	6件
近隣問題(道路, 境界, 騒音, マンション管理など)	3件
消費者問題(訪問販売, マルチ商法, 悪徳商法, インターネット商法など)	1件
労働関係(従業員のトラブル, 解雇, 配置換えなど)	3件
売買そのほかの契約関係	4件

家族関係（離婚，DV，児童虐待など）	1件
扶養，相続関係（遺言，遺産分割）	4件
交通事故	1件
交通事故以外の不法行為（名誉毀損，器物損壊など）	2件
会社そのほかの法人に関する問題	1件
その他	1件

令和7年度法律討論会

第47回法律討論会は、日本大学法学部法学研究所による主催、日本大学法曹会及び日本大学法学部校友会の後援により令和7年12月13日（土）12時00分から法学部10号館1011講堂において開催された。

（出題者）

河原 俊也 教授

（審査員）

本多 健一 裁判官・西尾 浩登 検察官・加藤 秀俊 弁護士

野村 和彦 教授・南 由介 教授・三隅 諒 専任講師

（進行）

峯岸 舞 弁護士

◆問題

甲は、令和7年6月6日、氏名不詳者から、SNSで「時計屋の叩きをやりませんか。時計屋のオーナーとこちら側が組んでいます。盗難保険に入っているので、高級腕時計等が盗難された場合、お店に保険金が下ります。その後、オーナーが保険金を受け取り、お店を閉めるとのことです。要は、保険金詐欺です。周りの目もあるので最初は被害届を出しますが、数週間後に取り下げさせてもらいます。被害届が取り下げられるので、捕まるリスクは低いです。報酬は400万円です」というメッセージを受信した（甲のスマートフォンにはこのメッセージを撮影した写真のデータが保存されており、それに前記のとおり文言が写っている）。その後、甲は、氏名不詳者との間で、SNSを使って数回やり取りし、強盗の計画の詳細を聞いた。

甲は、同月9日頃、知人のAに対し、電話で「報酬が100万円のグレーな仕事がある。見かけは強盗だが警察には捕まらない。指示役と被害店舗のオーナーがつながっており、被害店舗のショーケースを割って商品を持ち出して換金し、被害店舗は保険金を受け取ることになっている。自分が自動車を運転して被害店舗前までAを送り、その場でエンジンをかけたまま待っている。Aが商品を奪ったら、自動車で逃走する」などと説明したところ、Aは、この話を了承した。

甲は、同月11日、Aと合流し、Aに素顔を隠すための目出し帽、ショーケースを割るためのバール及び奪った時計を入れる紙袋等を渡した。その後、甲が手配したレンタカーで被害店舗に到着し、被害店舗前の路上に車両を停車させた。なお、甲は、被害店舗に向かう途中、氏名不詳者に対して、被害店舗の従業員から妨害されないよう、被害

店舗に電話して従業員の手を塞いでほしいなどと、SNSで依頼していた。

目出し帽をかぶったAが店内に立ち入った時、店内には男性従業員乙と客Bがいて、オーナーはバックヤードにいた。Aは店内のショーケースにボールを振り上げてガラスを割り、割れたショーケースから腕時計1点（時価30万円相当）を手にとって紙袋に入れた。

乙は、突然のことに動揺して立ち尽くしていたが、我に返り、Aを痛めつけて弱らせたところで捕まえようと考え、ショーケースの引き出しをAに向かって投げた。この引き出しはAをかすめて、その横に立っていたBに当たり、Aは加療約1週間を要する腕部打撲の、Bは加療約3か月間を要する頭部挫傷等の傷害を負った。

以上の事例において、氏名不詳者と被害店舗のオーナーとの間では狂言強盗の話が通じていたが、従業員との間では通じていないと甲が認識していたことを前提に、甲及び乙の罪責について論じなさい。なお、住居等侵入罪（刑法130条前段）については検討しなくてよい。

令和7年度の法律討論会は、法学部在学中の学生3名で構成されたチームが6チーム出場し、以下のルールのもとに実施した。各チーム一人の立論者が10分以内で論旨を発表した後、他の出場チームや傍聴者からの質疑応答に対して15分間応答した。

討論会に先立ち、日本大学法学部法学研究所長の加藤雅之教授及び日本大学法曹会会長の野村吉太郎弁護士からの挨拶があった。続いて、進行係の峯岸舞弁護士から発表の手順と審査基準等の説明がなされた後、討論が開始された。

討論終了後、審査員を代表して加藤秀俊弁護士から審査結果の発表があり、引き続き審査員を代表して本多健一裁判官からの講評があった。

その後、表彰式が行われた。優勝チームには、法曹会および法学部校友会から法曹会杯・法学部校友会杯が授与された。また、優勝、準優勝及び3位の各チームに対しては、法曹会から盾が授与されるとともに、法学部校友会から副賞として図書カードが授与された。第4位から第6位の出場者には、法学部校友会から参加賞として図書カードが贈呈された。あわせて、法学研究所から出場者全員に、参加賞として図書カードが授与された。

法律討論会終了後、本館地下食堂にて、出場者・審査員との懇親会を実施した。

成績結果は、以下のとおりである。(カッコ内は、学科・学年)

優勝 (第6組)

村上 琴乃 (法律学科2年)・皆川 和奏 (法律学科3年)

五十嵐 夏 (法律学科3年)

準優勝 (第3組)

山内 俊治 (法律学科3年)・林 千里 (法律学科3年)

古畑 嘉人 (法律学科3年)

第3位 (第5組)

伊藤 沢 (法律学科3年)・阿部 惣太 (法律学科4年)

小泉 拓也 (法律学科4年)

参加賞 (順不同)

角田 拓己 (法律学科3年)・富田 裕大 (法律学科3年)

尾内はるひ (法律学科3年)・居軒 拓飛 (法律学科3年)

上田 彩月 (法律学科3年)・山本ちひろ (法律学科3年)

山内 俊治 (法律学科3年)・林 千里 (法律学科3年)

古畑 嘉人 (法律学科3年)・染谷 安紀 (法律学科3年)

田付 峻大 (法律学科3年)・豊田 実希 (法律学科3年)

伊藤 沢 (法律学科3年)・阿部 惣太 (法律学科4年)

小泉 拓也 (法律学科4年)・村上 琴乃 (法律学科2年)

皆川 和奏 (法律学科3年)・五十嵐 夏 (法律学科3年)

優秀質問賞 (順不同)

村上 琴乃 (法律学科2年)・武井 柚磨 (法律学科2年)

佐々木日暉 (法律学科2年)・大武 勇気 (法律学科1年)

金子二能美 (法律学科1年)・小泉 拓也 (法律学科4年)

飯島もも香 (法律学科1年)・角田 拓己 (法律学科3年)

山内 俊治 (法律学科3年)・伊藤 優作 (法律学科1年)

校友会会長賞

鈴木 勇貴 (大学院法務研究科2年)

令和7年度国家試験合格者（研究室生）

◆司法書士試験 2名

新保実佳子（法務研究科平成22年3月修了）

柴田 祥治（法学研究科令和7年3月修了）

◆弁理士試験 2名

鈴木 沙優（法学部経営法学科3年在学中）

酒井 優里（生産工学部マネジメント工学科平成26年3月卒業）

◆公認会計士試験 1名

居森 賢祐（法学部経営法学科令和3年3月卒業）

◆税理士試験 1名

中村 喜樹（法学部法律学科令和7年3月卒業）